

# ちっちゃいものくらぶ

## ウーパールーパー (ちゃん)

先日やっと念願の生物室詣が叶いました。  
考えてみると保健室から一番遠い部屋なんですね～。  
そして…、いましたいました、私の大好きなやつらが！  
ちっちゃいものくらぶ第1号のプラちゃんもいたよ。  
懐かしかったなあ。(からだ半分の子もいた…)



さて、ウーパールーパーちゃんです。メキシコサラマンダーとかメキシコサンショウウオというのが本当の日本名らしく、ウーパールーパーちゃんというのは通称のようです。

幼い身体つきのまま大人になるので、ずっとかわいままなのが羨ましいです。

南高生物室にもウーパールーパーちゃんがいました。アルビノと呼ばれる白い子のほかに、黒いビロードのような肌の色の子もいたよ。藤田修先生からナマズの餌をもらって、おいしそうに食べていました。棲む環境が悪いとツノみたく生えてる外鰓が壊死して死んでしまうこともあるそうです。生き物はみんな住む環境を大切にしないとね。

赤い橋を渡る

楽しげな

ウーパールーパーちゃん



はっきり言って、生物室は  
私にとって、  
ディズニーランドを超える  
パラダイスです！

## 南高今昔物語

昔むかし、私が通学してた頃は、千葉駅からバスの生徒がすごく多かったんだよ。いつも満員。だからか、千葉駅から1本だけ南高直通のスクールバスも出てた。ある日「次は千葉南高校」というアナウンスが流れても、バスに乗ってる南高生の誰も「次止まりますボタン」を押さなかったんだ。中央バスの運転手さんは、もちろんほとんどの乗客が南高生だと知ってる。でもバスはそのままバス停を通過しちゃった。そしてみんな次のバス停まで連れていかれたのさ。(笑) たくさんいると、誰かが押すでしょって思っちゃうんだね。バスの運転手さんも規則に従っただけだよ。まあ、うるさい私らに、ちとお灸をすえてやるかとも思ったかもしれないけど。

誰かがやるでしょ。見て見ぬふり。これを「**当事者意識の欠如**」と言う。身近な出来事も、遠くの国でおきてる紛争や災害も、自分がもしその立場だったらと、自分の身に引きつけて考えてみるのはとても大事な事だと思う。HIVも同じ。日本人の多くが「まさか自分が感染なんて」と思うことが、右肩上がりの感染者増に繋がってると思うよ。